

カーボンニュートラル対応 第20回

2050年カーボンニュートラル(以下CN)の実現に向け、業界および会員企業では、製造現場からサプライチェーンに至るまで、脱炭素化に向けた実践的な取組みが進んでいます。

今回は、業界としての方向性と会員企業の取組み事例を紹介します。

業界としての方向性

- 製造工程の省エネ化・高効率化によるCO₂排出削減
- スcope1・2・3を含む排出量の把握・削減
- 技術・情報共有による業界全体での底上げ
- 行政・関連機関と連携した脱炭素の推進

会員企業の取組み事例紹介

① 製造工程の省エネ

コンプレッサーの稼働開始時間を作業者の出社時間から8時に固定することで、不要な待機・運転時間を削減し電力量を低減。(CO₂排出量6%削減)

② 再生可能エネルギーの導入

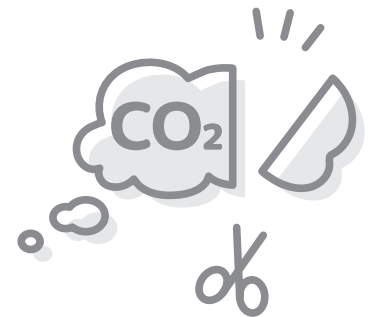
工場屋根へ太陽光発電設備(定格電力49.5kW)を設置し、工場全体の消費電力の内42%を再生エネ発電で賄った。(CO₂排出量42%削減)

③ 資源循環

部品の硬化防止で部品を温風機で保温しているが、保管棚全体を断熱シートで覆い温風の漏れを防止、さらに棚内の温風を循環させ電気代を削減。(CO₂排出量32%削減)

④ サプライチェーンと連携した省エネ

部品供給方式を見直し積み替え作業を廃止。フォークリフト運搬に適した部品供給用台車を整備し、荷役作業時の走行距離を削減することで消費燃料も削減。(CO₂排出量10%削減)



次号予告

脱炭素に関連する最新技術動向や制度・支援策の解説を予定しています。

まとめ

CNの実現には、一社一社の取組みの積み重ねと業界全体での連携が不可欠です。

今後も会員企業の先進的な取組みを紹介し、脱炭素への取組み拡大を支援していきます。

会員企業の取組み紹介

<https://www.jabia.or.jp/cn/energysaving/#energysaving01>
(会員ページ)

CO₂排出量削減のご協力依頼

2050年のCN達成に向け、当会も2030年に向けたCO₂排出量の目標値を掲げています。会員の皆様の排出量や省エネルギーの取組状況を把握するとともに、実効性のある削減施策の検討・推進を進めております。

今後も引き続き、各社におけるCO₂排出量削減の取組みを推進いただきますようお願い申し上げます。

ご要望・困り事など

会員にとって有益な情報を継続して発信して参りますので、掲載要望やお気づきの点がございましたらお気軽に事務局までお問い合わせください。

お問い合わせはこちら ➡ <https://www.jabia.or.jp/cn/contact/>
(会員ページ)

